

学校評価（令和7年度前半集計結果）

9/30（火）に学校運営協議会を開催し、アンケートの結果から見えた課題について、原因の究明や具体的な解決策を検討しました。職員の共通理解のもと実施していきます。

また、要望等については真摯に受け止めると同時に、よりよい教育活動を推進していくことで、保護者や地域の方々と連携して子供を育てていけるようにしていきたいと存じます。

1 学力向上

令和6年度後半の生徒アンケートの満足度が低かった「私は、家庭学習が習慣になっている。」「私は、テスト勉強の仕方がよくわかる。」の2つの観点については、4.7%、9.9%、どちらも増加している。しかし、「家庭学習」と「テスト勉強」の観点については全体と比較するとかなり低い。保護者アンケートでも「お子さんは、家庭学習が習慣化している。」の観点は44.7%とかなり低い満足度である。昨年度に続き、本校の大きな課題の1つとして誠実に取り組む必要があると感じます。家庭学習の習慣化に向けて、御家庭でも御協力をお願いいたします。

一方で、生徒アンケートの「私は、授業が楽しみで、意欲的に学習している。」と、保護者アンケートの「学校は、学力向上のために工夫及び充実した授業を行っている。」では、8.1%と11.0%の増加が見られた。令和7年度からは、教職員全体で授業改善に力を入れています。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、外部から講師を招聘するなどして研修に努め、試行錯誤を繰り返しています。

- (1) 定期テスト前の朝読書の時間を活用した学力向上週間(ながLearnタイム)の継続
- (2) 進路選択を視野に入れたキャリア教育の充実
- (3) 相互授業参観や外部講師を招聘しての校内授業研修
- (4) 生徒指導の機能を生かした授業の構築

2 生徒の悩みへの対応

令和6年度後半の生徒アンケートで、「私は、学校生活が楽しい。」「先生は、悩み事等に親身に素早く対応してくれる。」と、保護者アンケートの「学校は、生徒の悩み等に親身かつスピード感をもって対応している。」の観点は、96.7%、93.4%、86.2%と高い満足度である。どれも、昨年度よりも微増ではあるが増加している。

- (1) 生徒指導や生徒理解に関する会議を増やす。さらには、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、特別支援教育コーディネーターを会議に招聘し、専門的な立場からの意見をいただき、迅速で的確な初期対応を心がけている。職員間の報告・連絡・相談の徹底を行っている。
- (2) 1人1台端末を使った毎朝の「心の健康観察」を行い、教育相談の充実をめざす。生徒の小さな心のSOSを見逃さぬよう努める。

3 教育活動の内容や生徒の様子の伝え方

保護者アンケートで、「学校は、教育活動の内容や生徒の様子等をしっかり伝えている。」と、「学校の広報活動（学校だより、学年だより、保健だより、ホームページ、PTA広報誌等）は充実している。」では、94.7%、96.8%と高い満足度である。

- (1) 学校だより（各月の中旬）や学年だより（各月の上旬）で、生徒の活動の様子を伝えています。また、ホームページにも掲載しております。マチコミのタイムライン機能を使い、タイムリーに生徒の活動を伝えています。
- (2) 3月上旬にPTA広報「陽光 一ひかり」が発行されます。今年度のPTAの活動と子どもたちの活動が掲載されますので、是非読んでいただきたいと思います。